公社等外郭団体改革進行管理表

公　社　名	公益財団法人 高知県魚さい加工公社	主管課名	環境対策課
役　割	魚腸骨等の適正な再生利用に関する各種事業の実施及び再生利用促進のための知識及び指導の普及啓発		
改革の方向性	健全経営の確保	主な事業内容	・魚腸骨等の再生利用（鮮魚店や量販店、水産加工場等から排出される魚さいを魚粉や魚骨などに加工して、飼料や肥料等の原材料としてリサイクル） ・魚腸骨再生利用の普及啓発

令和７年度までの取組実績

1　施設整備
・平成17年4月から新施設で操業を開始。

2　運営体制の転換
・平成17年4月からは、財団専任の事務局長（専務理事）を置いて独自の運営体制を整え、事務局への人的支援を廃止するなど、県の関与の見直しを行った。

3　収支・財務の健全性の確保
・令和７年度の当期収支は27,017千円の赤字
次期繰越収支差額は37,735千円の黒字

4　魚さいの適正処理と再生製品の出荷
・令和７年度の収集量2,279ｔ
（前年比98.2%）
・令和７年度の再生品製造出荷量519ｔ
（前年比94.9%）

5　平成25年４月１日に公益財団法人へ移行。

6　老朽化した魚あら処理設備の長寿命化計画※を公社が策定、それに対し、県及び関係市町村からの支援を決定。
※令和８年度から令和12年度までの５年間で設備の修繕・更新等を実施し、少なくとも令和17年度まで施設を稼働

経営課題等

【経営課題】

・令和７年度は魚粉単価の下落もあり、単年度収支は約27,017千円の赤字である。
・魚あらの収集量も年々減少しているため、収集量の維持・確保が課題となっている。
・長寿命化計画の期間終了後の魚あら処理方法や公社の役割などについて、検討していく必要がある。

	正味財産期末残高	（前年度との差額）
H23年度	544,769千円	（△31,048千円）
H24年度	487,818千円	（△56,951千円）
H25年度	449,301千円	（△38,517千円）
H26年度	427,228千円	（△22,073千円）
H27年度	394,552千円	（△32,676千円）
H28年度	374,466千円	（△20,086千円）
H29年度	353,671千円	（△20,795千円）
H30年度	333,522千円	（△20,149千円）
R 1年度	322,465千円	（△11,057千円）
R 2年度	302,067千円	（△20,398千円）
R 3年度	295,905千円	（△ 6,162千円）
R 4年度	286,872千円	（△ 9,033千円）
R 5年度	287,639千円	（ 767千円）
R 6年度	281,141千円	（△ 6,498千円）
R 7年度	236,012千円	（△45,128千円）

【令和8年度以降の取組方針】

・魚あらの収集量の確保、製品の品質向上に向けた取組を支援する。
・長寿命化計画の着実な実施を支援する。
・長寿命化計画の期間終了後の魚あらの処理方法や公社の役割に係る関係市町村における協議を注視していく。